

Weekly コラム

令和元年 12 月 17 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

電気自動車のこれから

ブルームバーグ・ニューエナジーファイナンスが、「2022 年には電気自動車はエンジン車と競争できる価格になる」とするレポートを発表したことを、アメリカのメディアが伝えています。バッテリーの調達コストが劇的に下がっていることが、電気自動車の価格が下がる大きな要因とされています。グローバルなエネルギー経済研究機関であるブルームバーグ・ニューエナジーファイナンスのアドバンストランスポートチームは、電気自動車の価格がいつ既存の自動車と同じ水準の価格になるかというテーマを常に分析しています。2017 年、チームは 2026 年に拮抗するとしました。しかし、1 年後の 2018 年にはそれが 2024 年になると発表。そして、さらに 1 年が経過した 2019 年、チームは予想をさらに修正し、2022 年(たった 3 年後)には、電気自動車の既存のガソリンやディーゼルで動く車両と競争できる価格になると発表したのです。

なぜ、こんなにも急激に予測したタイムスパンが短くなったのでしょうか？その理由は、バッテリーのコストが急激に下がったからです。

2015 年にアメリカの中型車では、バッテリーのコストが車両価格全体の 57%を占めていました。今年は 33%です。チームによると、2025 年までにバッテリーコストは車両全体のわずか 25%になると予測されています。価格の均衡はまずヨーロッパの大型車両に起こり、次に交通セクターに広がるでしょう。

『ThinkProgress』が伝えたレポートでは、チームがもっと多くの(電気自動車用)部品が

世界中の工場で作られ経済規模が大きくなることによって、電気モーターとパワートレインコントロールシステムの値段が 3 分の 2 になると予測していることを付け加えています。

価格均衡が達成された後、消費者はどの車を買うかの決定を、車両価格よりもブランドを好み、スタイル、パフォーマンス水準、もしくは常に目新しいものを追い続けたいという判断基準で選ぶようになり、電気自動車革命を押し進めるためにインセンティブ(優遇税制など)は、もはや必要なくなります。ただ、これは米国のガソリン車の平均価格(日本円換算で 400 万円位)との比較であることには注意しましょう。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。